

シンポジウム

つながる地域、ひろがる活動

参加
無料

自治会×市民活動

の

可能性

2月14日 土 13:30-16:30

会場：ぽぽら春日部 会議室1.2

春日部市南1-1-7 ふれあいキューブ4F

対象

- ・自治会関係者/興味のある方
- ・市民活動団体の方/興味のある方
- ・地域づくりに関心のある市民

定員

50名（受付順）

地域課題の多様化が進むいま、自治会と市民活動の協働が生み出す地域力とは？

プログラム

1 基調講演「地域のつながりをどう守る？どう広げる？」

～デジタルと人の力でつくる多世代の支え合い～

小川 孔美 氏

埼玉県立大学社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 准教授

2 事例発表

- 「つながる、広がる地域の絆 ～二人三脚で実現できたこと～」
金崎区 区長 中田 猛 氏 / 金崎区環境整備会 石崎 純一 氏
- 「メイあさかセンター 多様なスマホ出前講座」
認定・埼玉県指定NPO法人 メイあさかセンター 森本 剛志 氏

3 ワークショップ ファシリテーター 藤井 美登利 氏

お申込み
お問合せ

WEBフォーム

またはお電話にてお申込みください

048-731-3550



シンポジウム

つながる地域、ひろがる活動

自治会×市民活動の可能性

基調講演



看護師・社会福祉士の知見を基に、高齢者福祉や虐待防止、専門職連携実践・教育を専門としています。多職種が力を持ち寄り、住民と「支援の質」を高める対話の場を大切に、誰もが安心して暮らせる仕組みづくりに邁進中。現場の「もやもや」を連携の視点で紐解き、確かなファシリテーションで納得感のある協働を目指すことをモットーとしています。



埼玉県立大学社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻
小川 孔美 准教授

事例発表



農地や水路を守る活動をしている金崎区環境整備会。同会が遊休農地の活用策として育てたコスモス畑を会場に、自治会と共同開催するコスモス祭りなどについて、両者から紹介します。

金崎区 区長
中田 猛 氏

金崎区環境整備会
石崎 純一 氏



NPO法人メイあさかセンター、国や都の事業に参加し、シニアにスマホの楽しさや便利さを伝える活動をしています。
デジタル推進委員、TOKYOスマホソーター

認定・埼玉県指定
NPO法人メイあさかセンター会員
森本 剛志 氏

ファシリテーター



観光で訪れた川越を気に入り都内から移住。明治時代の川越織物市場の保存運動や町内会報の発行に関わり、川越の職人や暮らしを記録する町雑誌を発行している。「きものでまちづくり」を行い、川越市や観光協会と「川越きものの日」制定に関わる。埼玉県庁にて6年間、NPOと企業のマッチングや、子ども食堂関連ネットワークの立ち上げに関わる。

たまサポ（彩の国市民活動サポートセンター）コーディネーター
NPO法人川越きもの散歩 代表 東京国際大学非常勤講師
藤井 美登利 氏

たまサポ

埼玉県が設置した市民活動を支える中間支援機関である彩の国市民活動サポートセンター（指定管理者：公益財団法人いきいき埼玉）の愛称。
県内の市町のサポートセンターや大学と連携し、市民活動を支援するとともに、各種講座の開催や相談業務などを行っている。

